

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書
【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】 関東財務局長
【提出日】 平成23年2月9日
【四半期会計期間】 第39期第3四半期（自平成22年10月1日至平成22年12月31日）
【会社名】 株式会社ジャフコ
【英訳名】 JAFCO Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】 取締役社長 豊貴 伸一
【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内一丁目8番2号

（注）平成23年2月14日から本店は下記に移転する予定です。

本店の所在の場所 東京都千代田区大手町一丁目5番1号

【電話番号】 03（5223）7073
【事務連絡者氏名】 常務取締役 山田 裕介
【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区丸の内一丁目8番2号
【電話番号】 03（5223）7073
【事務連絡者氏名】 主計部長 松田 宏明
【縦覧に供する場所】 株式会社ジャフコ関西支社
（大阪市中央区平野町三丁目5番12号）
株式会社ジャフコ中部支社
（名古屋市中区栄二丁目3番6号）
株式会社東京証券取引所
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第38期 第3四半期 連結累計期間 | 第39期 第3四半期 連結累計期間 | 第38期 第3四半期 連結会計期間 | 第39期 第3四半期 連結会計期間 | 第38期 |
|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日 | 自平成22年 4月1日 至平成22年 12月31日 | 自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日 | 自平成22年 10月1日 至平成22年 12月31日 | 自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日 |
| 売上高 (百万円) | 12,430 | 10,830 | 5,266 | 4,361 | 16,667 |
| 経常利益又は経常損失 () (百万円) | 1,972 | 2,464 | 310 | 1,761 | 4,671 |
| 四半期純利益又は四半期(当期)純損失 () (百万円) | 1,103 | 1,748 | 282 | 1,151 | 2,175 |
| 純資産額 (百万円) | - | - | 90,276 | 87,671 | 92,404 |
| 総資産額 (百万円) | - | - | 133,241 | 133,114 | 138,920 |
| 1株当たり純資産額 (円) | - | - | 2,027.85 | 1,969.08 | 2,075.56 |
| 1株当たり四半期純利益金額 又は四半期(当期)純損失金額 (円) | 24.86 | 39.41 | 6.37 | 25.96 | 49.03 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円) | - | - | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | - | - | 67.5 | 65.6 | 66.3 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー (百万円) | 3,213 | 1,302 | - | - | 5,151 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー (百万円) | 38 | 221 | - | - | 161 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー (百万円) | 9,901 | 852 | - | - | 8,455 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円) | - | - | 29,361 | 29,328 | 32,571 |
| 従業員数 (人) | - | - | 256 | 200 | 216 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第39期第3四半期連結累計期間及び第39期第3四半期連結会計期間におきましては希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、また第38期第3四半期連結累計期間、第38期第3四半期連結会計期間及び第38期におきましては1株当たり四半期(当期)純損失であるため、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成22年12月31日現在

| | |
|---------|-----|
| 従業員数(人) | 200 |
|---------|-----|

(注)従業員数は就業人員であります。

(2) 提出会社の状況

平成22年12月31日現在

| | |
|---------|-----|
| 従業員数(人) | 147 |
|---------|-----|

(注)従業員数は就業人員であります。

第2【事業の状況】

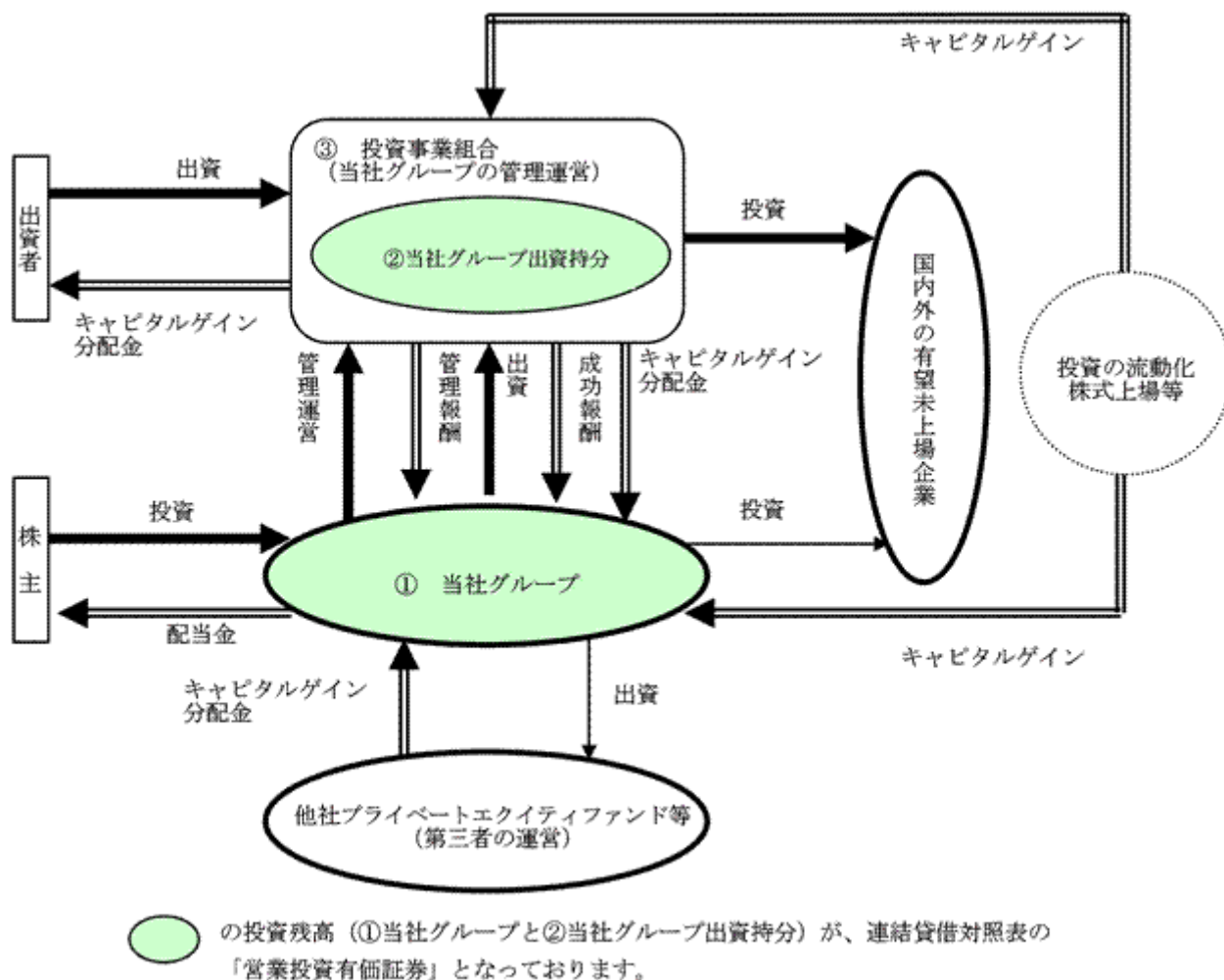
1【営業投資活動の状況】

当社グループは、下図のとおり、当社グループと投資事業組合の資金により、国内外の有望未上場企業等への投資を行っております。

投資事業組合における営業投資有価証券の売却損益等は、投資事業組合の出資持分にに応じて、当社グループに直接帰属いたします。また、当社グループは、投資事業組合から投資事業組合の契約に基づいて管理運営に対する管理報酬と投資成果に対する成功報酬を受領しております。

当第3四半期連結貸借対照表の営業投資有価証券残高は、当社グループ（下図）の営業投資有価証券残高と投資事業組合の当社グループの出資持分（下図）に応じた営業投資有価証券残高の合計額であります。

次ページ以降の「(1)投資実行状況」「(2)投資残高」につきましては、当社グループの営業投資活動（投資及び投資事業組合の管理運営）を表すため、当社グループ（下図）と投資事業組合（下図）を合算した投資活動の状況を記載しております。



(注)用語説明

| 名称 | 定義 |
|---------------|--|
| 当社グループ | 当社及び連結子会社 |
| 投資事業組合 (ファンド) | 当社グループが管理運営する投資事業組合(投資事業有限責任組合契約に関する法律上の組合、民法上の任意組合、外国の法制上のリミテッドパートナーシップ等) |

(1) 投資実行状況

(1) - 1 投資実行額

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | | 前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) | |
|----------------------------|--|----|--|-----|--|-----|
| | 金額 (百万円) | 社数 | 金額 (百万円) | 社数 | 金額 (百万円) | 社数 |
| エクイティ | 13,035 | 77 | 22,233 | 98 | 17,647 | 101 |
| 社債 | - | - | - | - | - | - |
| 他社プライベートエクイ ティファンド等への出資 | 502 | 15 | 262 | 12 | 616 | 15 |
| 合計 | 13,537 | 92 | 22,496 | 110 | 18,263 | 116 |

- (注) 1. 「投資実行額」は、当社グループ及び投資事業組合の投資実行額の合計であります。
2. 「他社プライベートエクイティファンド等への出資」は、当社グループ以外の第三者の運営する未上場株式等を対象とする投資ファンドに対する出資であり、「社数」欄にはファンド数を表示しております。
3. 外貨建の「投資実行額」については、四半期連結会計期間ごとにそれぞれの四半期末為替レートで換算した額を合計することとしております。
4. 投資先会社に「エクイティ」と「社債」で投資している場合、「社数」欄の「合計」は1社として計算しております。

(1) - 2 エクイティ投資実行額：業種別

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | | 前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) | |
|-----------------------|--|--|--|--|--|--|
| | 金額(百万円) | | 金額(百万円) | | 金額(百万円) | |
| エレクトロニクス | 2,096 | | 4,338 | | 2,207 | |
| ソフトウェア | 609 | | 884 | | 1,928 | |
| ITサービス | 2,359 | | 6,103 | | 3,531 | |
| 医療・バイオ | 1,099 | | 1,524 | | 1,811 | |
| サービス | 5,838 | | 5,938 | | 6,042 | |
| 製造業 | 818 | | 2,474 | | 1,897 | |
| 流通・小売・外食 | 183 | | 321 | | 198 | |
| 住宅・金融等 | 30 | | 50 | | 30 | |
| その他(上場会社の非上場 化案件等) | - | | 600 | | - | |
| 合計 | 13,035 | | 22,233 | | 17,647 | |

- (注) 1. 「投資実行額」は、当社グループ及び投資事業組合の投資実行額の合計であります。
2. 外貨建の「投資実行額」については、四半期連結会計期間ごとにそれぞれの四半期末為替レートで換算した額を合計することとしております。

(1) - 3 エクイティ投資実行額：地域別

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) |
|-----------|--|--|--|
| | 金額(百万円) | 金額(百万円) | 金額(百万円) |
| 日本 | 8,368 | 14,969 | 10,000 |
| 米国 | 2,397 | 3,144 | 4,748 |
| アジア・オセアニア | 2,269 | 4,119 | 2,898 |
| ヨーロッパ | - | - | - |
| 合計 | 13,035 | 22,233 | 17,647 |

- (注) 1. 「投資実行額」は、当社グループ及び投資事業組合の投資実行額の合計であります。
2. 外貨建の「投資実行額」については、四半期連結会計期間ごとにそれぞれの四半期末為替レートで換算した額を合計することとしております。

(2) 投資残高

(2) - 1 投資残高

| | | 前第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日) | | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | | 前連結会計年度末 (平成22年3月31日) | |
|----------------------------|-----|--------------------------------|-------|--------------------------------|-----|--------------------------|-----|
| | | 金額 (百万円) | 社数 | 金額 (百万円) | 社数 | 金額 (百万円) | 社数 |
| エク イ ティ | 上場 | 15,655 | 149 | 18,590 | 129 | 16,808 | 142 |
| | 未上場 | 177,887 | 799 | 170,571 | 761 | 173,861 | 778 |
| | 小計 | 193,543 | 948 | 189,161 | 890 | 190,669 | 920 |
| 社債 | 未上場 | 8 | 2 | - | - | 5 | 1 |
| | 小計 | 8 | 2 | - | - | 5 | 1 |
| 他社プライベートエクイ ティファンド等への出資 | | 10,797 | 65 | 8,424 | 59 | 9,749 | 64 |
| 合計 | | 204,348 | 1,015 | 197,586 | 949 | 200,425 | 985 |

- (注) 1. 「投資残高」は、当社グループ及び投資事業組合の投資残高の合計であります。
2. 「投資残高」は取得原価で表示しております。
3. 「エクイティ」には、他社との共同投資による投資事業組合への出資を含んでおります。
4. 「他社プライベートエクイティファンド等への出資」は、当社グループ以外の第三者の運営する未上場株式等を対象とする投資ファンドへの出資であり、「社数」欄にはファンド数を表示しております。
5. 外貨建の「投資残高」については、各決算期末為替レートで換算しております。
6. 投資先会社に「エクイティ」と「社債」で投資している場合、「社数」欄の「合計」は1社として計算しております。

(2) - 2 未上場エクイティ投資残高：業種別

| | 前第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末 (平成22年3月31日) |
|-----------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------|
| | 金額(百万円) | 金額(百万円) | 金額(百万円) |
| エレクトロニクス | 26,217 | 23,424 | 24,565 |
| ソフトウェア | 17,746 | 14,539 | 17,137 |
| ITサービス | 27,876 | 27,801 | 28,574 |
| 医療・バイオ | 21,772 | 16,580 | 20,779 |
| サービス | 20,248 | 25,160 | 20,286 |
| 製造業 | 12,739 | 14,705 | 13,625 |
| 流通・小売・外食 | 18,345 | 18,085 | 18,233 |
| 住宅・金融等 | 11,006 | 7,781 | 8,733 |
| その他(上場会社の非上場 化案件等) | 21,935 | 22,493 | 21,925 |
| 合計 | 177,887 | 170,571 | 173,861 |

- (注) 1. 「投資残高」は、当社グループ及び投資事業組合の投資残高の合計であります。
2. 「投資残高」は取得原価で表示しております。
3. 外貨建の「投資残高」については、各決算期末為替レートで換算しております。

(2) - 3 未上場エクイティ投資残高：地域別

| | 前第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末 (平成22年3月31日) |
|-----------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------|
| | 金額(百万円) | 金額(百万円) | 金額(百万円) |
| 日本 | 133,814 | 128,833 | 128,229 |
| 米国 | 21,560 | 21,280 | 22,385 |
| アジア・オセアニア | 22,512 | 20,457 | 23,246 |
| ヨーロッパ | 0 | - | 0 |
| 合計 | 177,887 | 170,571 | 173,861 |

- (注) 1. 「投資残高」は、当社グループ及び投資事業組合の投資残高の合計であります。
2. 「投資残高」は取得原価で表示しております。
3. 外貨建の「投資残高」については、各決算期末為替レートで換算しております。

(3) 投資事業組合の運用状況

| | | 前第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日) | | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | | 前連結会計年度末 (平成22年3月31日) | |
|------|-----|--------------------------------|----------------|--------------------------------|----------------|--------------------------|----------------|
| | | ファンド数 | 出資金総額 (百万円) | ファンド数 | 出資金総額 (百万円) | ファンド数 | 出資金総額 (百万円) |
| 円建 | 運用中 | 34 | 434,800 | 32 | 389,300 | 33 | 406,800 |
| | 延長中 | 4 | 39,500 | 5 | 56,500 | 4 | 39,500 |
| | 小計 | 38 | 474,300 | 37 | 445,800 | 37 | 446,300 |
| 米ドル建 | 運用中 | 6 | 332,000 | 8 | 334,000 | 7 | 333,000 |
| | 延長中 | 1 | 178,000 | 1 | 178,000 | 1 | 178,000 |
| | 小計 | 7 | 510,000 | 9 | 512,000 | 8 | 511,000 |
| 合計 | 運用中 | 40 | 465,377 | 40 | 416,517 | 40 | 437,782 |
| | 延長中 | 5 | 55,893 | 6 | 71,005 | 5 | 56,061 |
| | 合計 | 45 | 521,271 | 46 | 487,522 | 45 | 493,843 |

- (注) 1. 「出資金総額」は、契約上出資が約束されている額の総額であります。
 2. 合計欄における米ドル建「出資金総額」については、各決算期末為替レートで換算しております。
 3. 「出資金総額」に占める当社グループの出資持分は、前第3四半期連結会計期間末では38.9%、当第3四半期連結会計期間末では38.7%、前連結会計年度末では38.9%であります。

(4) 投資先会社新規上場（IPO）の状況

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

| | 投資先会社名 | 上場年月日 | 上場市場 | 事業内容 | 本社所在地 |
|--------|-------------------------|-------------|--------|---|-------|
| 国内: 4社 | (株)シーボン | 平成21年9月11日 | JASDAQ | スキンケア製品（洗顔料・クレンジング等のベーシック製品及び美容液・クリーム等のスペシャル製品等）を中心とする化粧品及び医薬部外品の製造販売 | 東京都 |
| | (株)キャンパス | 平成21年9月17日 | マザーズ | 抗癌剤の研究・開発 | 静岡県 |
| | (株)デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 | 平成21年10月23日 | NEO | 医薬品の研究開発 | 愛知県 |
| | (株)エフオーアイ | 平成21年11月20日 | マザーズ | 半導体製造装置の製品開発、製造、販売 | 神奈川県 |
| 海外: 1社 | NewGrid Technology Inc. | 平成21年5月26日 | KOSDAQ | 次世代ネットワーク向けゲートウェイ、サーバ製品の開発 | 韓国 |

- (注) 1. 海外企業の本社所在地は、主たる営業地域又は実質的な本社所在地を基準に記載しております。
 2. 平成22年10月12日付でヘラクレス、JASDAQ及びNEOは統合し、「JASDAQ市場」が新たに開設されました。

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

| | 投資先会社名 | 上場年月日 | 上場市場 | 事業内容 | 本社所在地 |
|-------|---|-------------|-------------|---|-------|
| 国内：4社 | アゼアス(株) | 平成22年4月16日 | J A S D A Q | 防護服・環境資機材事業（防護服、環境対策用資機材等の販売）、たたみ資材事業（畳に関連する資材全般の販売）及びアパレル資材事業（繊維副資材の製造、販売） | 東京都 |
| | (株)ボルテージ | 平成22年6月11日 | マザーズ | モバイルコンテンツの企画・制作・開発・運営、モバイルコマース等 | 東京都 |
| | (株)パピレス | 平成22年6月23日 | J A S D A Q | (1)電子書籍の販売事業：出版社等から電子書籍を収集し、ネットワークを通して携帯電話、PC等の情報端末利用者に配信する事業（2）電子書籍販売支援システム（eBookBank）の開発運用、電子書籍の受注制作等 | 東京都 |
| | 大塚ホールディングス(株) | 平成22年12月15日 | 東京1 | 医薬品・飲料食品製造等を営む会社の持株会社 | 東京都 |
| 海外：4社 | TobeSoft Co., Ltd. | 平成22年6月1日 | K O S D A Q | XMLベースのインターネットアーキテクチャーをベースとするソフトウェア・プラットフォーム開発 | 韓国 |
| | HiSoft Technology International Limited | 平成22年6月30日 | N A S D A Q | ソフトウェアの受託開発 | 中国 |
| | Ambow Education Holding Ltd. | 平成22年8月5日 | N Y S E | e-Learningプラットフォームをベースとする教育サービスの提供 | 中国 |
| | ChinaCache International Holdings Ltd. | 平成22年10月1日 | N A S D A Q | 中国国内向けコンテンツ・デリバリー・ネットワーク（CDN）サービスの提供 | 中国 |

- （注）1．海外企業の本社所在地は、主たる営業地域又は実質的な本社所在地を基準に記載しております。
2．平成22年10月12日付でヘラクレス、J A S D A Q及びNEOは統合し、「J A S D A Q市場」が新たに開設されました。

2【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結会計期間の連結業績は、売上高4,361百万円（前年同四半期連結会計期間5,266百万円）、経常利益1,761百万円（前年同四半期連結会計期間経常損失310百万円）、四半期純利益1,151百万円（前年同四半期連結会計期間四半期純損失282百万円）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高10,830百万円（前年同四半期連結累計期間12,430百万円）、経常利益2,464百万円（前年同四半期連結累計期間経常損失1,972百万円）、四半期純利益1,748百万円（前年同四半期連結累計期間四半期純損失1,103百万円）となりました。

（キャピタルゲインと新規上場の状況）

当第3四半期連結会計期間の営業投資有価証券売上高3,103百万円（前年同四半期連結会計期間3,327百万円）のうち、配当金及び債券利子を除く株式等売却高は2,972百万円（前年同四半期連結会計期間3,183百万円）であります。これに伴うキャピタルゲインは、上場株式の売却によるものが1,322百万円（前年同四半期連結会計期間1,040百万円）、上場株式以外によるものが2,151百万円（前年同四半期連結会計期間2,683百万円）で、結果、828百万円（前年同四半期連結会計期間1,642百万円）となりました。上場株式以外によるキャピタルゲイン2,151百万円（前年同四半期連結会計期間2,683百万円）の内訳は、買収・トレードセール等による売却益85百万円（前年同四半期連結会計期間125百万円）・売却損2,237百万円（前年同四半期連結会計期間2,808百万円）であります。

また、当社グループ及び投資事業組合の投資先からの新規上場会社数は、国内1社、海外1社（前年同四半期連結会計期間国内2社）となりました。

営業投資有価証券売上原価3,865百万円（前年同四半期連結会計期間5,080百万円）に含まれる強制評価損は、63百万円（前年同四半期連結会計期間254百万円）であり、そのうち、未上場営業投資有価証券の強制評価損は6百万円（前年同四半期連結会計期間47百万円）であります。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業投資有価証券売上高6,999百万円（前年同四半期連結累計期間7,241百万円）のうち、配当金及び債券利子を除く株式等売却高は6,623百万円（前年同四半期連結累計期間6,870百万円）であります。これに伴うキャピタルゲインは、上場株式の売却によるものが2,718百万円（前年同四半期連結累計期間2,534百万円）、上場株式以外によるものが4,672百万円（前年同四半期連結累計期間4,771百万円）で、結果、1,953百万円（前年同四半期連結累計期間2,237百万円）となりました。上場株式以外によるキャピタルゲイン4,672百万円（前年同四半期連結累計期間4,771百万円）の内訳は、買収・トレードセール等による売却益867百万円（前年同四半期連結累計期間201百万円）・売却損5,540百万円（前年同四半期連結累計期間4,972百万円）であります。

また、当社グループ及び投資事業組合の投資先からの新規上場会社数は、国内4社、海外4社（前年同四半期連結累計期間国内4社、海外1社）となりました。

営業投資有価証券売上原価8,931百万円（前年同四半期連結累計期間10,151百万円）に含まれる強制評価損は、354百万円（前年同四半期連結累計期間1,043百万円）であり、そのうち、未上場営業投資有価証券の強制評価損は6百万円（前年同四半期連結累計期間464百万円）であります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) |
|---------------|--|--|--|
| | 金額(百万円) | 金額(百万円) | 金額(百万円) |
| 営業投資有価証券売上高 | 7,241 | 6,999 | 10,172 |
| 売却高() | 6,870 | 6,623 | 9,765 |
| 配当金・債券利子 | 370 | 375 | 406 |
| 営業投資有価証券売上原価 | 10,151 | 8,931 | 14,606 |
| 売却原価() | 9,107 | 8,577 | 13,477 |
| 強制評価損 | 1,043 | 354 | 1,128 |
| キャピタルゲイン(-) | 2,237 | 1,953 | 3,711 |

(投資実行の状況)

当第3四半期連結会計期間の当社グループ及び投資事業組合の投資実行額は11,409百万円(前年同四半期連結会計期間2,059百万円)、投資会社数は49社(前年同四半期連結会計期間33社)となりました。なお、当第3四半期連結累計期間の当社グループ及び投資事業組合の投資実行額は22,496百万円(前年同四半期連結累計期間13,537百万円)、投資会社数は110社(前年同四半期連結累計期間92社)となりました。

(営業投資有価証券残高の状況)

上場している営業投資有価証券の「取得原価と時価の差額」は、3,772百万円(前期末2,084百万円)であり、時価が取得原価を超えるものが5,696百万円(前期末4,060百万円)、時価が取得原価を超えないものが1,924百万円(前期末1,975百万円)であります。

なお、時価が取得原価を超えないものの評価差額(評価差損)は、部分純資産直入法により評価損として計上しております。当第3四半期連結会計期間の評価損計上額は、323百万円(前年同四半期連結会計期間41百万円)となりました。また、当第3四半期連結累計期間の評価損計上額は、50百万円(前年同四半期連結累計期間1,868百万円)となりました。

以上のような投資・売却・時価変動等の結果、当第3四半期連結会計期間末の営業投資有価証券の投資残高は、87,839百万円(前期末88,155百万円)となりました。

| | 前第3四半期 連結会計期間末 (平成21年12月31日) | 当第3四半期 連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末 (平成22年3月31日) |
|---------------------------|------------------------------------|------------------------------------|--------------------------|
| | 金額(百万円) | 金額(百万円) | 金額(百万円) |
| 上場している営業投資有価証券の取得原価と時価の差額 | 1,588 | 3,772 | 2,084 |
| 時価が取得原価を超えるもの | 3,897 | 5,696 | 4,060 |
| 時価が取得原価を超えないもの | 2,308 | 1,924 | 1,975 |

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) |
|------------------------------|--|--|--|
| | 金額(百万円) | 金額(百万円) | 金額(百万円) |
| 部分純資産直入法に基づく営業投資有価証券評価損(戻入益) | 1,868 | 50 | 2,201 |

営業投資有価証券残高

| | 前第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日) | | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | | 前連結会計年度末 (平成22年3月31日) | |
|------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------|-------------------------|
| | 取得原価 (百万円) | 四半期 連結貸借 対照表計上額 (百万円) | 取得原価 (百万円) | 四半期 連結貸借 対照表計上額 (百万円) | 取得原価 (百万円) | 連結貸借 対照表計上額 (百万円) |
| 上場 | 7,130 | 8,719 | 8,298 | 12,071 | 7,375 | 9,460 |
| 未上場 | 73,559 | 70,908 | 71,867 | 67,853 | 71,528 | 69,442 |
| 小計 | 80,689 | 79,627 | 80,166 | 79,925 | 78,903 | 78,902 |
| 他社プライベートエクイティファンド等への出資 | 10,443 | 10,178 | 8,266 | 7,914 | 9,460 | 9,253 |
| 合計 | 91,133 | 89,805 | 88,432 | 87,839 | 88,364 | 88,155 |

(注) 1. 「未上場」には、社債を含んでおります。

2. 「他社プライベートエクイティファンド等への出資」は、当社グループ以外の第三者の運営する未上場株式等を対象とする投資ファンドへの出資であります。

(投資損失引当金の状況)

営業投資有価証券の損失に備えるため、投資先会社の実情を勘案の上、その損失見積額を計上しております。個別銘柄ごとには、原則として回収見込額が取得原価の70%未満になったものを引当し、個別引当対象にならなかった未上場残高に対しても一定の一括引当を行うこととしております。

当第3四半期連結会計期間の個別引当による繰入は、613百万円(前年同四半期連結会計期間2,303百万円)、一括引当による繰入(は取崩)は129百万円(前年同四半期連結会計期間 39百万円)で、合計742百万円(前年同四半期連結会計期間2,264百万円)の繰入となりました。

一方、個別引当について、引当銘柄の売却や強制評価損等により2,373百万円(前年同四半期連結会計期間2,844百万円)を取崩した結果、投資損失引当金繰入額(純額)は、1,630百万円(前年同四半期連結会計期間579百万円)となり、当第3四半期連結会計期間末の投資損失引当金残高は29,749百万円(前期末33,462百万円)、営業投資有価証券未上場残高に対する引当率は39.3%(前期末42.5%)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の個別引当による繰入は、1,758百万円(前年同四半期連結累計期間7,325百万円)、一括引当による繰入(は取崩)は236百万円(前年同四半期連結累計期間 61百万円)で、合計1,994百万円(前年同四半期連結累計期間7,264百万円)の繰入となりました。また、個別引当について、引当銘柄の売却や強制評価損等により5,634百万円(前年同四半期連結累計期間5,025百万円)を取崩した結果、投資損失引当金繰入額(純額)は、3,640百万円(前年同四半期連結累計期間2,239百万円)となりました。

| | 前第3四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) |
|------------------------------|--|--|--|
| | 金額(百万円) | 金額(百万円) | 金額(百万円) |
| 投資損失引当金繰入額() | 7,264 | 1,994 | 9,762 |
| 個別繰入額 | 7,325 | 1,758 | 10,301 |
| 一括繰入(取崩)額 | 61 | 236 | 539 |
| 投資損失引当金取崩額() | 5,025 | 5,634 | 6,357 |
| 投資損失引当金繰入額 (純額・は戻入額)(-) | 2,239 | 3,640 | 3,405 |

| | 前第3四半期 連結会計期間末 (平成21年12月31日) | 当第3四半期 連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末 (平成22年3月31日) |
|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|--------------------------|
| | 金額(百万円) | 金額(百万円) | 金額(百万円) |
| 投資損失引当金残高 | 32,290 | 29,749 | 33,462 |
| 個別引当残高 | 27,985 | 25,686 | 29,635 |
| 一括引当残高 | 4,305 | 4,063 | 3,827 |
| 営業投資有価証券未上場残高 に対する引当率 | 39.8% | 39.3% | 42.5% |

(投資事業組合の管理運営業務)

当第3四半期連結会計期間の投資事業組合の管理運営業務による収入は、1,226百万円(前年同四半期連結会計期間1,902百万円)であります。なお、当第3四半期連結累計期間のこの業務による収入は、3,726百万円(前年同四半期連結累計期間5,064百万円)であり、その内訳は以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) |
|------------|--|--|--|
| | 金額(百万円) | 金額(百万円) | 金額(百万円) |
| 投資事業組合管理収入 | 5,064 | 3,726 | 6,331 |
| 管理報酬 | 4,726 | 3,726 | 5,993 |
| 成功報酬 | 338 | - | 338 |

(注) 管理報酬及び成功報酬は、当社グループの出資持分相当額相殺後の金額となっております。

(2) キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間の税金等調整前四半期純利益は1,761百万円となっておりますが、投資損失引当金の減少額1,630百万円等の非資金項目が含まれているため、営業活動によるキャッシュ・フローは、754百万円のキャッシュアウトフロー(前年同四半期連結会計期間2,272百万円のキャッシュインフロー)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は2,479百万円となっておりますが、投資損失引当金の減少額3,640百万円等の非資金項目が含まれているため、営業活動によるキャッシュ・フローは、1,302百万円のキャッシュアウトフロー(前年同四半期連結累計期間3,213百万円のキャッシュインフロー)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、180百万円のキャッシュアウトフロー(前年同四半期連結会計期間80百万円のキャッシュインフロー)となりました。これは主に本社移転に伴う差入保証金の増加によるものであります。

なお、当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、221百万円のキャッシュアウトフロー(前年同四半期連結累計期間38百万円のキャッシュインフロー)となりました。これは主に本社移転に伴う差入保証金の増加によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、7,137百万円のキャッシュアウトフロー(前年同四半期連結会計期間4,199百万円のキャッシュアウトフロー)となりました。これは主にコマーシャル・ペーパーの減少によるものであります。

なお、当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、852百万円のキャッシュアウトフロー(前年同四半期連結累計期間9,901百万円のキャッシュアウトフロー)となりました。これは主に借入金の返済によるものであります。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高は29,328百万円(前年同四半期連結会計期間末29,361百万円)となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

該当事項はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 80,000,000 |
| 計 | 80,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成22年12月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成23年2月9日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|-------------------------------------|----------------------------|------------------------------------|-----------|
| 普通株式 | 48,294,336 | 48,294,336 | 東京証券取引所 市場第一部 | 単元株式数100株 |
| 計 | 48,294,336 | 48,294,336 | - | - |

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成23年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

旧商法第280条ノ20及び第280条ノ21の規定に基づき発行した新株予約権は、次のとおりであります。

平成16年6月24日定時株主総会決議

| | 第3四半期会計期間末現在 (平成22年12月31日) |
|--|--|
| 新株予約権の数(個) | 1,235 |
| 新株予約権のうち自己新株予約権の数(個) | - |
| 新株予約権の目的となる株式の種類 | 普通株式 単元株式数 100株 |
| 新株予約権の目的となる株式の数(株) | 123,500 |
| 新株予約権の行使時の払込金額(円) | 978,800(注) |
| 新株予約権の行使期間 | 自平成18年7月1日 至平成23年6月30日 |
| 新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額(円) | 発行価格 1株当たり9,788 資本組入額 1株当たり4,894 |
| 新株予約権の行使の条件 | 1. 権利行使時においても、当社もしくは当社子会社の取締役、監査役、従業員であるか、又は顧問、嘱託その他これに準ずる地位にある者のうち取締役会が認める者であることを要する。 2. 新株予約権者が死亡した場合は、相続は認めない。 |
| 新株予約権の譲渡に関する事項 | 当社取締役会の承認を要する。 |
| 代用払込みに関する事項 | - |
| 組織再編成行為に伴う新株予約権の交付に関する事項 | - |

(注) 新株予約権発行後、当社が株式分割又は株式併合を行う場合、次の算式により1株当たり払込金額を調整し、調整により生じる1円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後払込金額} = \text{調整前払込金額} \times \frac{1}{\text{分割・併合の割合}}$$

また、当社が時価を下回る価額で新株の発行又は自己株式の処分(新株予約権の行使による場合を除く。)を行う場合、次の算式により1株当たり払込金額を調整し、調整により生じる1円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後払込金額} = \text{調整前払込金額} \times \frac{\text{既発行株式数} + \frac{\text{新規発行株式数} \times 1 \text{株当たり払込金額}}{\text{新規発行前の株価}}}{\text{既発行株式数} + \text{新規発行株式数}}$$

前記算式において、「既発行株式数」とは当社の発行済株式数から当社が保有する自己株式数を控除した数とし、自己株式の処分を行う場合には、「新規発行株式数」を「処分する自己株式数」に、「新規発行前の株価」を「処分前の株価」にそれぞれ読み替えるものとする。

平成17年6月22日定時株主総会決議

| | 第3四半期会計期間末現在 (平成22年12月31日) |
|--|---|
| 新株予約権の数(個) | 1,615 |
| 新株予約権のうち自己新株予約権の数(個) | - |
| 新株予約権の目的となる株式の種類 | 普通株式 単元株式数 100株 |
| 新株予約権の目的となる株式の数(株) | 161,500 |
| 新株予約権の行使時の払込金額(円) | 652,300 (注) |
| 新株予約権の行使期間 | 自 平成19年7月1日 至 平成24年6月30日 |
| 新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額(円) | 発行価格 1株当たり6,523 資本組入額 1株当たり3,262 |
| 新株予約権の行使の条件 | 1. 権利行使時においても、当社もしくは当社子会社の取締役、執行役員、監査役、従業員であるか、又は顧問、嘱託その他これに準ずる地位にある者のうち取締役会が認める者であることを要する。 2. 新株予約権者が死亡した場合は、相続は認めない。 |
| 新株予約権の譲渡に関する事項 | 当社取締役会の承認を要する。 |
| 代用払込みに関する事項 | - |
| 組織再編成行為に伴う新株予約権の交付に関する事項 | - |

(注) 新株予約権発行後、当社が株式分割又は株式併合を行う場合、次の算式により1株当たり払込金額を調整し、調整により生じる1円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後払込金額} = \text{調整前払込金額} \times \frac{1}{\text{分割・併合の割合}}$$

また、当社が時価を下回る価額で新株の発行又は自己株式の処分(新株予約権の行使による場合を除く。)を行う場合、次の算式により1株当たり払込金額を調整し、調整により生じる1円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後払込金額} = \text{調整前払込金額} \times \frac{\text{既発行株式数} + \frac{\text{新規発行株式数} \times 1 \text{株当たり払込金額}}{\text{新規発行前の株価}}}{\text{既発行株式数} + \text{新規発行株式数}}$$

前記算式において、「既発行株式数」とは当社の発行済株式数から当社が保有する自己株式数を控除した数とし、自己株式の処分を行う場合には、「新規発行株式数」を「処分する自己株式数」に、「新規発行前の株価」を「処分前の株価」にそれぞれ読み替えるものとする。

会社法に基づき発行した新株予約権は、次のとおりであります。

平成18年6月22日取締役会決議

| | 第3四半期会計期間末現在 (平成22年12月31日) |
|--|--|
| 新株予約権の数(個) | 260 |
| 新株予約権のうち自己新株予約権の数(個) | - |
| 新株予約権の目的となる株式の種類 | 普通株式 単元株式数 100株 |
| 新株予約権の目的となる株式の数(株) | 26,000 |
| 新株予約権の行使時の払込金額(円) | 729,800(注) |
| 新株予約権の行使期間 | 自平成20年7月1日 至平成23年6月30日 |
| 新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額(円) | 発行価格 1株当たり9,488 資本組入額 1株当たり4,744 |
| 新株予約権の行使の条件 | 1. 新株予約権の割当を受けた者は、権利行使時においても、当社もしくは当社子会社の取締役、執行役員、監査役、従業員であるか、又は顧問、嘱託その他これに準ずる地位にある者のうち取締役会が認める者であることを要する。 2. 新株予約権者が死亡した場合は、相続は認めない。 |
| 新株予約権の譲渡に関する事項 | 譲渡による新株予約権の取得については、当社の承認を得るものとする。 |
| 代用払込みに関する事項 | - |
| 組織再編成行為に伴う新株予約権の交付に関する事項 | - |

(注) 新株予約権発行後、当社が株式分割又は株式併合を行う場合、次の算式により行使価額を調整し、調整により生じる1円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後行使価額} = \text{調整前行使価額} \times \frac{1}{\text{分割・併合の割合}}$$

また、当社が時価を下回る価額で新株の発行又は自己株式の処分(新株予約権の行使による場合を除く。)を行う場合、次の算式により行使価額を調整し、調整により生じる1円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後行使価額} = \text{調整前行使価額} \times \frac{\text{既発行株式数} + \frac{\text{新規発行株式数} \times 1 \text{株当たり払込金額}}{\text{新規発行前の株価}}}{\text{既発行株式数} + \text{新規発行株式数}}$$

前記算式において、「既発行株式数」とは当社の発行済株式数から当社が保有する自己株式数を控除した数とし、自己株式の処分を行う場合には、「新規発行株式数」を「処分する自己株式数」に、「新規発行前の株価」を「処分前の株価」にそれぞれ読み替えるものとする。

上記の場合のほか、行使価額の調整を必要とするやむを得ない事由が生じたときは、当社は必要と認める行使価額の調整を行う。

平成18年6月22日定時株主総会決議

| | 第3四半期会計期間末現在 (平成22年12月31日) |
|--|--|
| 新株予約権の数(個) | 1,218 |
| 新株予約権のうち自己新株予約権の数(個) | - |
| 新株予約権の目的となる株式の種類 | 普通株式 単元株式数 100株 |
| 新株予約権の目的となる株式の数(株) | 121,800 |
| 新株予約権の行使時の払込金額(円) | 729,800(注) |
| 新株予約権の行使期間 | 自平成20年7月1日 至平成23年6月30日 |
| 新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額(円) | 発行価格 1株当たり9,488 資本組入額 1株当たり4,744 |
| 新株予約権の行使の条件 | 1. 新株予約権の割当を受けた者は、権利行使時においても、当社もしくは当社子会社の取締役、執行役員、監査役、従業員であるか、又は顧問、嘱託その他これに準ずる地位にある者のうち取締役会が認める者であることを要する。 2. 新株予約権者が死亡した場合は、相続は認めない。 |
| 新株予約権の譲渡に関する事項 | 譲渡による新株予約権の取得については、当社の承認を得るものとする。 |
| 代用払込みに関する事項 | - |
| 組織再編成行為に伴う新株予約権の交付に関する事項 | - |

(注) 新株予約権発行後、当社が株式分割又は株式併合を行う場合、次の算式により行使価額を調整し、調整により生じる1円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後行使価額} = \text{調整前行使価額} \times \frac{1}{\text{分割・併合の割合}}$$

また、当社が時価を下回る価額で新株の発行又は自己株式の処分(新株予約権の行使による場合を除く。)を行う場合、次の算式により行使価額を調整し、調整により生じる1円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後行使価額} = \text{調整前行使価額} \times \frac{\text{既発行株式数} + \frac{\text{新規発行株式数} \times 1 \text{株当たり払込金額}}{\text{新規発行前の株価}}}{\text{既発行株式数} + \text{新規発行株式数}}$$

前記算式において、「既発行株式数」とは当社の発行済株式数から当社が保有する自己株式数を控除した数とし、自己株式の処分を行う場合には、「新規発行株式数」を「処分する自己株式数」に、「新規発行前の株価」を「処分前の株価」にそれぞれ読み替えるものとする。

上記の場合のほか、行使価額の調整を必要とするやむを得ない事由が生じたときは、当社は必要と認める行使価額の調整を行う。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数 増減数(株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金増減 額(百万円) | 資本準備金残 高(百万円) |
|----------------------------|-------------------|------------------|-----------------|----------------|-------------------|------------------|
| 平成22年10月1日～ 平成22年12月31日 | - | 48,294,336 | - | 33,251 | - | 32,806 |

(6) 【大株主の状況】

当第3四半期会計期間において、ラザード・ジャパン・アセット・マネージメント株式会社及びその共同保有者であるラザード・アセット・マネージメント・エルエルシーから平成22年12月2日付で大量保有報告書の提出があり、平成22年11月30日現在で以下のとおり株式を所有している旨報告されておりますが、株主名簿の記載内容が確認できないため、当社として実質所有株式数の確認ができません。

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数(千株) | 発行済株式総数に対する所 有株式数の割合(%) |
|--------------------------------|--|-----------|----------------------------|
| ラザード・アセット・マネー ジメント・エルエルシー | アメリカ合衆国ニューヨーク州 ニューヨーク市ロックフェラー プ ラザ30番地 | 2,052 | 4.25 |
| ラザード・ジャパン・アセット・ マネージメント株式会社 | 東京都港区赤坂2-11-7 | 1,053 | 2.18 |
| 計 | - | 3,105 | 6.43 |

また、平成22年12月31日現在、当社は自己株式を3,925千株(平成22年9月30日現在では、3,925千株)保有しておりますが、大株主からは除外しております。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成22年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成22年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|------------|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 3,925,000 | - | 単元株式数 100株 |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 44,346,100 | 443,461 | 同上 |
| 単元未満株式 | 普通株式 23,236 | - | - |
| 発行済株式総数 | 48,294,336 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 443,461 | - |

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には証券保管振替機構名義の株式が、200株含まれております。また「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数が2個含まれております。

【自己株式等】

平成22年9月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|------------|-------------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 株式会社ジャフコ | 東京都千代田区丸の内 1 - 8 - 2 | 3,925,000 | - | 3,925,000 | 8.13 |
| 計 | - | 3,925,000 | - | 3,925,000 | 8.13 |

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

| 月別 | 平成22年 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 最高(円) | 2,974 | 2,957 | 2,444 | 2,328 | 2,134 | 2,181 | 2,215 | 2,069 | 2,403 |
| 最低(円) | 2,363 | 2,272 | 1,938 | 1,948 | 1,829 | 1,854 | 1,638 | 1,632 | 1,965 |

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものです。

3【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動は次のとおりであります。

(1) 新任役員

該当事項はありません。

(2) 退任役員

該当事項はありません。

(3) 役職の異動

| 新役名 | 新職名 | 旧役名 | 旧職名 | 氏名 | 異動年月日 |
|-------|---|-------|---|-------|-----------|
| 専務取締役 | JAFCO Investment (Asia Pacific) Ltd President&CEO | 常務取締役 | JAFCO Investment (Asia Pacific) Ltd President&CEO | 山田 裕司 | 平成23年1月1日 |

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|-------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 13,607 | 19,541 |
| 営業投資有価証券 | 87,839 | 88,155 |
| 投資損失引当金 | 29,749 | 33,462 |
| 有価証券 | 15,720 | 13,030 |
| 繰延税金資産 | 5,187 | 5,630 |
| その他 | 1,121 | 1,484 |
| 貸倒引当金 | 127 | 151 |
| 流動資産合計 | 93,599 | 94,229 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 1 314 | 1 418 |
| 無形固定資産 | 134 | 143 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2 37,704 | 2 42,866 |
| 出資金 | 25 | 30 |
| 長期貸付金 | 209 | 184 |
| 繰延税金資産 | 92 | 113 |
| その他 | 1,034 | 933 |
| 投資その他の資産合計 | 39,066 | 44,129 |
| 固定資産合計 | 39,515 | 44,691 |
| 資産合計 | 133,114 | 138,920 |

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 短期借入金 | - | 4,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 15,542 | 18,008 |
| 未払法人税等 | 88 | 144 |
| 賞与引当金 | 110 | 226 |
| その他 | 1,962 | 2,122 |
| 流動負債合計 | 17,703 | 24,501 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 15,000 | - |
| 長期借入金 | 7,158 | 14,273 |
| 繰延税金負債 | 5,090 | 7,231 |
| 退職給付引当金 | 434 | 429 |
| その他 | 56 | 80 |
| 固定負債合計 | 27,739 | 22,014 |
| 負債合計 | 45,443 | 46,516 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 33,251 | 33,251 |
| 資本剰余金 | 32,806 | 32,806 |
| 利益剰余金 | 35,013 | 35,483 |
| 自己株式 | 20,074 | 20,074 |
| 株主資本合計 | 80,995 | 81,466 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 9,561 | 12,862 |
| 為替換算調整勘定 | 3,190 | 2,237 |
| 評価・換算差額等合計 | 6,370 | 10,625 |
| 新株予約権 | 253 | 253 |
| 少数株主持分 | 51 | 59 |
| 純資産合計 | 87,671 | 92,404 |
| 負債純資産合計 | 133,114 | 138,920 |

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|-----------------------------------|--|--|
| 売上高 | | |
| 営業投資有価証券売上高 | 7,241 | 6,999 |
| 投資事業組合管理収入 | 5,064 | 3,726 |
| その他の売上高 | 124 | 104 |
| 売上高合計 | 12,430 | 10,830 |
| 売上原価 | | |
| 営業投資有価証券売上原価 | 10,151 | 8,931 |
| その他の原価 | 203 | 119 |
| 売上原価合計 | 10,355 | 9,051 |
| 売上総利益 | 2,075 | 1,779 |
| 投資損失引当金繰入額(戻入額) | 2,239 | 3,640 |
| 部分純資産直入法に基づく営業投資有価証券評価損 (戻入益) | 1,868 | 50 |
| 差引売上総利益 | 1,703 | 5,469 |
| 販売費及び一般管理費 | ₁ 4,104 | ₁ 3,518 |
| 営業利益又は営業損失() | 2,400 | 1,951 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 25 | 33 |
| 受取配当金 | 940 | 962 |
| 雑収入 | 133 | 223 |
| 営業外収益合計 | 1,099 | 1,219 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 446 | 416 |
| 社債発行費 | - | 55 |
| 為替差損 | 216 | 212 |
| 雑損失 | 7 | 22 |
| 営業外費用合計 | 670 | 706 |
| 経常利益又は経常損失() | 1,972 | 2,464 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | - |
| 投資有価証券売却益 | 6 | 23 |
| 償却債権取立益 | - | 5 |
| 特別利益合計 | 6 | 28 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 12 |
| 固定資産売却損 | 0 | - |
| 投資有価証券評価損 | 36 | 1 |
| 事業再構築費用 | ₂ 409 | - |
| 特別損失合計 | 446 | 13 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失() | 2,412 | 2,479 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 336 | 128 |
| 法人税等調整額 | 1,637 | 603 |
| 法人税等合計 | 1,301 | 731 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | - | 1,747 |
| 少数株主損失() | 8 | 0 |
| 四半期純利益又は四半期純損失() | 1,103 | 1,748 |

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日) |
|-----------------------------------|---|---|
| 売上高 | | |
| 営業投資有価証券売上高 | 3,327 | 3,103 |
| 投資事業組合管理収入 | 1,902 | 1,226 |
| その他の売上高 | 37 | 31 |
| 売上高合計 | 5,266 | 4,361 |
| 売上原価 | | |
| 営業投資有価証券売上原価 | 5,080 | 3,865 |
| その他の原価 | 110 | 39 |
| 売上原価合計 | 5,190 | 3,904 |
| 売上総利益 | 76 | 456 |
| 投資損失引当金繰入額(戻入額) | 579 | 1,630 |
| 部分純資産直入法に基づく営業投資有価証券評価損 (戻入益) | 41 | 323 |
| 差引売上総利益 | 698 | 2,411 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,310 ¹ | 1,078 ¹ |
| 営業利益又は営業損失() | 612 | 1,332 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8 | 8 |
| 受取配当金 | 399 | 399 |
| 雑収入 | 16 | 296 |
| 営業外収益合計 | 424 | 704 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 144 | 137 |
| 社債発行費 | - | 1 |
| 為替差損 | 22 | 135 |
| 雑損失 | 0 | 1 |
| 営業外費用合計 | 122 | 276 |
| 経常利益又は経常損失() | 310 | 1,761 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 |
| 投資有価証券評価損 | 0 | - |
| 事業再構築費用 | 409 ² | - |
| 特別損失合計 | 409 | 0 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失() | 720 | 1,761 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 11 | 34 |
| 法人税等調整額 | 424 | 575 |
| 法人税等合計 | 436 | 610 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | - | 1,150 |
| 少数株主損失() | 1 | 0 |
| 四半期純利益又は四半期純損失() | 282 | 1,151 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|--------------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失() | 2,412 | 2,479 |
| 減価償却費 | 125 | 159 |
| 投資損失引当金の増減額(は減少) | 2,239 | 3,640 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 0 | 23 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 195 | 116 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 5 | 5 |
| 部分純資産直入法に基づく営業投資有価証券評価損(は戻入益) | 1,868 | 50 |
| 投資有価証券評価損(特別損失) | 36 | 1 |
| 固定資産売却損益(は益) | 0 | - |
| 固定資産除却損 | 0 | 12 |
| 受取利息及び受取配当金 | 966 | 995 |
| 支払利息 | 446 | 416 |
| 為替差損益(は益) | 376 | 452 |
| 投資有価証券売却損益(は益) | 6 | 23 |
| 営業投資有価証券の増減額(は増加) | 4,420 | 338 |
| 未収消費税等の増減額(は増加) | - | 41 |
| 未払消費税等の増減額(は減少) | 190 | 4 |
| その他の流動資産の増減額(は増加) | 776 | 285 |
| その他の流動負債の増減額(は減少) | 406 | 200 |
| その他 | 227 | 261 |
| 小計 | 2,967 | 1,791 |
| 利息及び配当金の受取額 | 966 | 995 |
| 利息の支払額 | 456 | 333 |
| 法人税等の支払額 | 263 | 172 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,213 | 1,302 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期貸付金の回収による収入 | 12 | - |
| 有形固定資産の取得による支出 | 17 | 25 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 0 | - |
| 無形固定資産の取得による支出 | 23 | 37 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 5 | 30 |
| 投資有価証券の売却等による収入 | 123 | 24 |
| 長期貸付けによる支出 | 20 | 45 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 10 | 16 |
| 投資その他の資産の増加に伴う支出 | 55 | 207 |
| 投資その他の資産の減少に伴う収入 | 27 | 83 |
| その他の固定負債の減少に伴う支出 | 12 | - |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 38 | 221 |

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|--------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（は減少） | - | 4,000 |
| 長期借入れによる収入 | 7,600 | 4,600 |
| 長期借入金の返済による支出 | 15,288 | 14,180 |
| 社債の発行による収入 | - | 14,944 |
| 配当金の支払額 | 2,210 | 2,214 |
| 自己株式の取得による支出 | 1 | 0 |
| 自己株式の売却による収入 | - | 0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 9,901 | 852 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 602 | 867 |
| 現金及び現金同等物の増減額（は減少） | 7,252 | 3,243 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 36,613 | 32,571 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1、2 29,361 | 1、2 29,328 |

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|--------------------|--|
| 1. 連結の範囲に関する事項の変更 | (1) 連結範囲の変更 当第3四半期連結会計期間において当社グループが管理運営する投資事業組合の設立等のために保有する法人1社を新たに連結の範囲に含めておりません。 (2) 変更後の連結子会社の数 17社 |
| 2. 会計処理基準に関する事項の変更 | 資産除去債務に関する会計基準の適用 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。 これによる損益への影響はありません。 |

【表示方法の変更】

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|--------------|--|
| (四半期連結損益計算書) | 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。 |

| | 当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日) |
|--------------|--|
| (四半期連結損益計算書) | 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。 |

【簡便な会計処理】

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|----------------------------|--|
| 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法 | 繰延税金資産の算定に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。 |

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）
該当事項はありません。

【注記事項】

（四半期連結貸借対照表関係）

| 当第3四半期連結会計期間末 （平成22年12月31日） | 前連結会計年度末 （平成22年3月31日） |
|--|--|
| 1.有形固定資産の減価償却累計額は、1,548百万円であります。 | 1.有形固定資産の減価償却累計額は、1,555百万円であります。 |
| 2.非連結子会社及び関連会社に対するものは次のとおりであります。 投資有価証券（株式） 99百万円 | 2.非連結子会社及び関連会社に対するものは次のとおりであります。 同左 |
| 3.当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行6行及び生命保険会社1社と特定融資枠契約を締結しております。この契約に基づく当第3四半期連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。 特定融資枠の総額 8,500百万円 借入実行残高 - 百万円 差引額 8,500百万円 | 3.当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行6行及び生命保険会社1社と特定融資枠契約を締結しております。この契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。 同左 |

（四半期連結損益計算書関係）

第3四半期連結累計期間

| 前第3四半期連結累計期間 （自平成21年4月1日 至平成21年12月31日） | 当第3四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年12月31日） |
|--|---|
| 1.販売費及び一般管理費のうち、主な費目及び金額は次のとおりであります。 (百万円) 役員報酬 303 従業員給料 1,537 従業員賞与 259 退職給付費用 99 | 1.販売費及び一般管理費のうち、主な費目及び金額は次のとおりであります。 (百万円) 役員報酬 235 従業員給料 1,263 従業員賞与 248 退職給付費用 104 |
| 2.事業再構築費用は、主にキャリアアップ特別支援措置の実施に伴う退職功労加算金であります。 | |

第3四半期連結会計期間

| 前第3四半期連結会計期間 （自平成21年10月1日 至平成21年12月31日） | 当第3四半期連結会計期間 （自平成22年10月1日 至平成22年12月31日） |
|--|--|
| 1.販売費及び一般管理費のうち、主な費目及び金額は次のとおりであります。 (百万円) 役員報酬 96 従業員給料 499 従業員賞与 83 退職給付費用 32 | 1.販売費及び一般管理費のうち、主な費目及び金額は次のとおりであります。 (百万円) 役員報酬 75 従業員給料 404 従業員賞与 85 退職給付費用 26 |
| 2.事業再構築費用は、主にキャリアアップ特別支援措置の実施に伴う退職功労加算金であります。 | |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

| 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|---|---|
| 1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年12月31日現在) (百万円) | 1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年12月31日現在) (百万円) |
| 現金及び預金勘定 18,642 | 現金及び預金勘定 13,607 |
| 有価証券勘定 10,718 | 有価証券勘定 15,720 |
| 現金及び現金同等物 29,361 | 現金及び現金同等物 29,328 |
| 2. 現金及び現金同等物のうち投資事業組合持分の内訳 (平成21年12月31日現在) (百万円) | 2. 現金及び現金同等物のうち投資事業組合持分の内訳 (平成22年12月31日現在) (百万円) |
| 現金及び預金勘定 5,955 | 現金及び預金勘定 3,881 |
| 有価証券勘定 9,111 | 有価証券勘定 13,879 |
| 現金及び現金同等物 15,067 | 現金及び現金同等物 17,760 |

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成22年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 48,294千株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 3,925千株

3. 新株予約権等に関する事項

ストック・オプションとしての新株予約権

新株予約権の四半期連結会計期間末残高 親会社 253百万円

4. 配当に関する事項

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|-------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成22年5月7日 取締役会 | 普通株式 | 2,218 | 50 | 平成22年3月31日 | 平成22年5月28日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

当企業集団は、投資・組合運営事業の1セグメントであるため、該当事項はありません。

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

当企業集団は、投資・組合運営事業の1セグメントであるため、該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

| | 日本 (百万円) | 米国 (百万円) | アジア (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|-------------|-------------|--------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する 売上高 | 5,033 | 68 | 165 | 5,266 | - | 5,266 |
| (2) セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 5 | 129 | 117 | 253 | (253) | - |
| 計 | 5,039 | 198 | 283 | 5,520 | (253) | 5,266 |
| 営業利益 又は営業損失() | 744 | 28 | 104 | 611 | (0) | 612 |

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 「アジア」の区分に属する国又は地域の内訳は、シンガポール、中国（香港）、韓国であります。

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

| | 日本 (百万円) | 米国 (百万円) | アジア (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|-------------|-------------|--------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する 売上高 | 11,577 | 318 | 533 | 12,430 | - | 12,430 |
| (2) セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 18 | 386 | 369 | 774 | (774) | - |
| 計 | 11,596 | 705 | 903 | 13,204 | (774) | 12,430 |
| 営業利益 又は営業損失() | 2,690 | 6 | 284 | 2,399 | (1) | 2,400 |

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 「アジア」の区分に属する国又は地域の内訳は、シンガポール、中国（香港）、韓国であります。
3. 会計処理の方法の変更
(在外連結子会社等の収益及び費用の換算方法の変更)
第1四半期連結会計期間より「在外連結子会社等の収益及び費用の換算方法」を変更しております。この変更が損益に与える影響は軽微であります。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

| | 米 国 | ア ジ ア | そ の 他 | 計 |
|------------------------|-----|-------|-------|-------|
| ・ 海外売上高(百万円) | 465 | 272 | 40 | 698 |
| ・ 連結売上高(百万円) | | | | 5,266 |
| ・ 連結売上高に占める海外売上高の割合(%) | 8.8 | 5.2 | 0.8 | 13.3 |

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 「その他」の区分に属する地域は、ヨーロッパ・オセアニアであります。
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。
4. 外国の法制上のリミテッドパートナーシップ等からの分配時に生じた為替差損により、当第3四半期連結会計期間における「その他」の海外売上高は 40百万円となっております。

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

| | 米 国 | ア ジ ア | そ の 他 | 計 |
|------------------------|-------|-------|-------|--------|
| ・ 海外売上高（百万円） | 1,984 | 1,370 | 34 | 3,320 |
| ・ 連結売上高（百万円） | | | | 12,430 |
| ・ 連結売上高に占める海外売上高の割合（％） | 16.0 | 11.0 | 0.3 | 26.7 |

- （注）1．国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
- 2．「その他」の区分に属する地域は、ヨーロッパ・オセアニアであります。
- 3．海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。
- 4．外国の法制上のリミテッドパートナーシップ等からの分配時に生じた為替差損により、当第3四半期連結累計期間における「その他」の海外売上高は 34百万円となっております。
- 5．会計処理の方法の変更
（在外連結子会社等の収益及び費用の換算方法の変更）
第1四半期連結会計期間より「在外連結子会社等の収益及び費用の換算方法」を変更しております。この変更が海外売上高に与える影響は軽微であります。

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

当社グループは、投資及び投資事業組合管理運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結会計期間（自平成22年10月1日 至平成22年12月31日）

当社グループは、投資及び投資事業組合管理運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（金融商品関係）

事業の運営において重要なものであるため記載しております。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません（（注2）参照）。

| 科目 | 当第3四半期連結会計期間末 （平成22年12月31日） | | | 前連結会計年度末 （平成22年3月31日） | | |
|--------------|--------------------------------|--------------|--------------|-----------------------------|--------------|--------------|
| | 四半期連結 貸借対照表 計上額 （百万円） | 時 価 （百万円） | 差 額 （百万円） | 連結 貸借対照表 計上額 （百万円） | 時 価 （百万円） | 差 額 （百万円） |
| (1) 現金及び預金 | 13,607 | 13,607 | - | 19,541 | 19,541 | - |
| (2) 営業投資有価証券 | 12,071 | 12,071 | - | 9,460 | 9,460 | - |
| (3) 有価証券 | 15,720 | 15,720 | - | 13,030 | 13,030 | - |
| (4) 投資有価証券 | 28,245 | 28,245 | - | 33,413 | 33,413 | - |
| 資産計 | 69,645 | 69,645 | - | 75,445 | 75,445 | - |
| (1) 短期借入金 | - | - | - | 4,000 | 4,000 | - |
| (2) 社債 | 15,000 | 15,049 | 49 | - | - | - |
| (3) 長期借入金 | 22,700 | 22,712 | 11 | 32,281 | 32,354 | 73 |
| 負債計 | 37,700 | 37,761 | 60 | 36,281 | 36,354 | 73 |

(注1) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資産

(1) 現金及び預金

短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(2) 営業投資有価証券

営業投資有価証券のうち、株式の時価は取引所の価格によっております。また、営業投資有価証券のうち、投資事業組合もしくはリミテッドパートナーシップへの出資については、組合財産を時価評価できるものは時価評価を行った上、当該時価に対する持分相当額を計上しております。

(3) 有価証券

有価証券の時価は取引金融機関等から提示された価格によっております。

(4) 投資有価証券

株式の時価は取引所の価格によっております。

また、保有目的ごとの(2)営業投資有価証券、(3)有価証券、(4)投資有価証券に関する注記事項については、(有価証券関係)注記をご参照ください。

負債

(1) 短期借入金

短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(2) 社債

社債の時価は市場価格によっております。

(3) 長期借入金

長期借入金のうち、変動金利によるものは、短期間で市場金利を反映し、また、当社の信用状態は実行後大きく異なっていないことから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額によっております。固定金利によるものは、一定の期間ごとに区分した当該長期借入金の元利金の合計額を同様の借入において想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

| 区分 | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末 (平成22年3月31日) |
|----------------|--------------------------------|--------------------------|
| | 四半期連結貸借対照表計上額 (百万円) | 連結貸借対照表計上額 (百万円) |
| 営業投資有価証券に属するもの | | |
| 非上場株式(*1) | 62,859 | 65,624 |
| 非上場内国・外国債券(*2) | 1,381 | 701 |
| その他(*3) | 11,526 | 12,368 |
| 投資有価証券に属するもの | | |
| 非上場株式(*1) | 9,458 | 9,453 |

(*1)非上場株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから「(2)営業投資有価証券」及び「(4)投資有価証券」には含まれておりません。

(*2)非上場内国・外国債券については、市場価格がなく、かつ、将来キャッシュ・フローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められることから「(2)営業投資有価証券」には含まれておりません。

(*3)営業投資有価証券に属するもののうち、「その他」は、投資事業組合もしくはリミテッドパートナーシップへの出資のうち、組合財産が非上場株式など時価を把握することが極めて困難と認められるもので構成されているものであるため、「(2)営業投資有価証券」には含まれておりません。

(有価証券関係)

その他有価証券で時価のあるもの

その他有価証券で時価のあるものは、事業の運営において重要なものであるため記載しております。

| 区 分 | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | | | 前連結会計年度末 (平成22年3月31日) | | |
|--------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------|--------------------------|------------------------------|--------------|
| | 取得原価 (百万円) | 四半期連結 貸借対照表 計上額 (百万円) | 差 額 (百万円) | 取得原価 (百万円) | 連 結 貸借対照表 計上額 (百万円) | 差 額 (百万円) |
| 営業投資有価証券に 属するもの | | | | | | |
| (1) 株 式 | 8,298 | 12,071 | 3,772 | 7,375 | 9,460 | 2,084 |
| (2) 債 券 | - | - | - | - | - | - |
| (3) その他 | - | - | - | - | - | - |
| 小 計 | 8,298 | 12,071 | 3,772 | 7,375 | 9,460 | 2,084 |
| 投資有価証券に属す るもの | | | | | | |
| (1) 株 式 | 13,309 | 28,245 | 14,936 | 13,309 | 33,413 | 20,103 |
| (2) 債 券 | - | - | - | - | - | - |
| (3) その他 | - | - | - | - | - | - |
| 小 計 | 13,309 | 28,245 | 14,936 | 13,309 | 33,413 | 20,103 |
| 有価証券に属するも の | | | | | | |
| (1) 株 式 | - | - | - | - | - | - |
| (2) 債 券 | - | - | - | - | - | - |
| (3) その他 | 15,720 | 15,720 | - | 13,030 | 13,030 | - |
| 小 計 | 15,720 | 15,720 | - | 13,030 | 13,030 | - |
| 合 計 | 37,328 | 56,037 | 18,709 | 33,715 | 55,904 | 22,188 |

(注) 1. 以下については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表には含めておりません。

| 区 分 | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末 (平成22年3月31日) |
|----------------|--------------------------------|--------------------------|
| | 四半期連結貸借対照表計上額 (百万円) | 連結貸借対照表計上額 (百万円) |
| その他有価証券 | | |
| 営業投資有価証券に属するもの | | |
| 非上場株式 | 62,859 | 65,624 |
| 非上場内国・外国債券 | 1,381 | 701 |
| その他 | 11,526 | 12,368 |
| 投資有価証券に属するもの | | |
| 非上場株式 | 9,458 | 9,453 |

(注) 2. 当第3四半期連結累計期間において、その他有価証券(時価を把握することが極めて困難と認められるものを含む。)について355百万円(営業投資有価証券に属するもの354百万円、投資有価証券に属するもの1百万円)(前年通期1,220百万円(営業投資有価証券に属するもの1,128百万円、投資有価証券に属するもの91百万円))の減損処理を行っております。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)

1. スtock・オプションに係る当第3四半期連結会計期間における費用計上額及び科目名

該当事項はありません。

2. 当第3四半期連結会計期間に付与したストック・オプションの内容

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

| 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末 (平成22年3月31日) |
|--------------------------------|--------------------------|
| 1株当たり純資産額 1,969.08円 | 1株当たり純資産額 2,075.56円 |

2. 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額等

| 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|--|---|
| 1株当たり四半期純損失金額 24.86円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であるため記載していません。 | 1株当たり四半期純利益金額 39.41円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。 |

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|---|--|--|
| 四半期純利益又は四半期純損失() (百万円) | 1,103 | 1,748 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益 又は四半期純損失() (百万円) | 1,103 | 1,748 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 44,370 | 44,369 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | - | - |

| 前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日) |
|---|---|
| 1株当たり四半期純損失金額 6.37円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であるため記載していません。 | 1株当たり四半期純利益金額 25.96円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。 |

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日) |
|---|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失() (百万円) | 282 | 1,151 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益 又は四半期純損失() (百万円) | 282 | 1,151 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 44,369 | 44,369 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | - | - |

(重要な後発事象)
該当事項はありません。

(リース取引関係)
該当事項はありません。

2【その他】
該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年2月5日

株式会社ジャフコ
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 英 公一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森重 俊寛 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ジャフコの平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ジャフコ及び連結子会社の平成21年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年2月7日

株式会社ジャフコ
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 英 公一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森重 俊寛 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ジャフコの平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ジャフコ及び連結子会社の平成22年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。